

海洋鉱物資源開発に向けた資源量評価・生産技術等調査事業委託費

資源エネルギー庁資源・燃料部
鉱物資源課

令和5年度予算額

91 億円 (93 億円)

事業の内容

事業目的

我が国周辺海域には海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト等の海洋鉱物が存在し、これらには省エネ機器や再エネ関連設備等に不可欠な銅やレアメタルが含まれています。「海洋基本計画」等に基づき、海洋資源調査船「白嶺」等を使用した資源量調査や生産技術の検討を行い、鉱物資源の安定供給確保を図ることを目的とします。

事業概要

海底熱水鉱床について、資源量評価の精緻化を進めるとともに、採鉱・揚鉱システム確立に向けて掘削機の技術試験を行います。

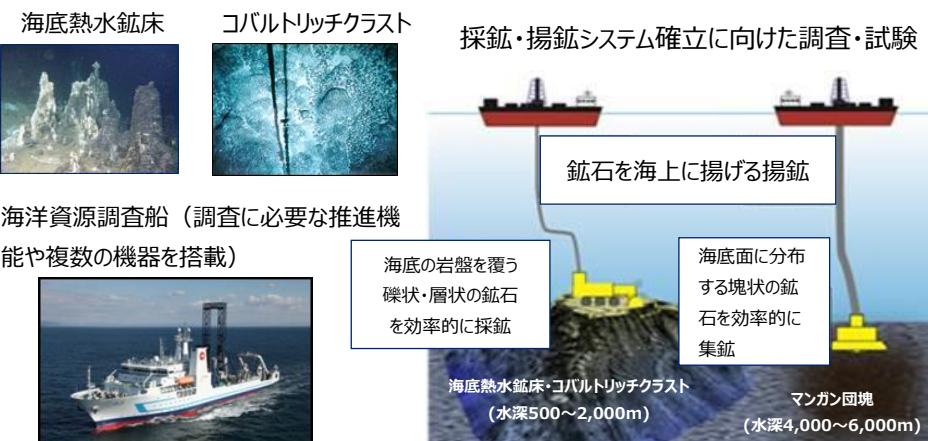
コバルトリッチクラストについても、EEZ内及び国際海底機構（ISA）との探査契約により公海に保有する鉱区における資源量の把握を進めるとともに、専用採鉱機の設計・制作を行います。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

国

委託

民間団体等



成果目標

海底熱水鉱床については、国際情勢等を睨みつつ、2020年代後半以降に民間企業が参画する商業化を目指したプロジェクトの開始を目指します。

コバルトリッチクラストについては、2028年末（令和10年末）までに総合的に評価・検証し、民間企業による商業化の可能性を追求します。